部　方　針　書

年度	部名	部長名
R5	土木建設部	村上　守

1　部の経営方針　部全体を俯瞰したマネジメントの目標

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標ごとに記載）
1	「ひとが輝き　交流広がる　わたしたちの宇部」の実現に向け、「和衷協同」の精神で、部内一丸となり、第五次総合計画（前期実行計画）を着実に推進する。
2	多様なステークホルダーと共創・連携し、人口減少、超高齢化社会においても持続可能で、安心安全で快適に暮らせ、にぎわいのあるまちづくりを推進する。
3	市民の暮らしを支える社会インフラ(道路・下水道等)について、計画的かつ効果的な維持管理を行い、安心安全な生活基盤の形成を図る。
4	管理職自ら模範となり、「凡事徹底」を実践することで、適正な事務の執行および、市民から信頼される職員を育成する。
5	職員が誰でも新たなことに「挑戦」でき、失敗しても許容することができる組織風土の醸成に努める。
6	日常的に管理職から職員に声掛けを行い、コミュニケーションを図ることで、気軽に発言や相談等ができる職場環境づくりに努める。

◎心理的安全性確保に向けた取組（記入必須）

・管理職自身が積極的に弱さを開示する。　・1on1（ワン・オン・ワン）を実施する。

2　部が所管する主な個別計画　前期実行計画に掲げる施策に関連する特定分野における計画

No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類
1	宇部市橋梁長寿命化修繕計画	R2～R11	基本目標5 安心・安全	2	宇部市自転車活用推進計画	R2～R11	基本目標5 安心・安全	3	道路の個別施設計画（舗装編）	H29～R8	基本目標5 安心・安全
4	宇部市下水道事業総合計画	R4～R13	基本目標5 安心・安全	5	宇部市下水道ストックマネジメント計画	R5～R9	基本目標5 安心・安全				

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	土木河川課	河口　力

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・急傾斜地崩壊対策事業や河川の氾濫防止のための浚渫など災害に強い安全なまちづくりを推進し、地域の総合的な防災・減災力の強化を図る。 ・河川の水辺を活用した自由な発想による誰もが参加できるイベントの開催を支援し、水辺に集う人々の交流やにぎわいを創出する。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	小規模急傾斜地崩壊対策事業(中野(3)地区)の進捗率 (事業費ベース)	個別計画	H29 ～ R6	100%	83.3%	95.8%	急傾斜地崩壊危険区域に指定した斜面の安全を図り、居住者や第三者への危害を防止することで、安心・安全な暮らしが確保できる。
2	市が管理する準用河川及び指定水路の浚渫の進捗率 (事業費ベース)	個別計画	R2 ～ R6	100%	62.4%	81.2%	準用河川や指定水路の堆積土等の除去を行い、集中豪雨時に河川の氾濫を防止することで、安心・安全な暮らしが確保できる。
3	ミズベリング・プロジェクトの実施件数 (年度毎)	個別計画	R5	5件	4件	5件	河川の水辺を、ミズベリング実施団体と連携し、マルシェやイベント開催などで活用することで、水辺に集う人々の交流やにぎわいが創出できる。
4	宅地耐震化推進事業 大規模盛土造成地滑動崩落対策工事の進捗率(事業費ベース) 【主管課：建築指導課】	個別計画	R4 ～ R5	100%	0% (R4年度繰越)	100%	厚南地区(旭が丘団地)の滑動崩落防止対策工事を完了させることで、地震時における宅地の安全性が確保できる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	中野(3)地区急傾斜地崩壊防止補助事業	災害に強い強靭な地域づくりを推進するため、がけ崩れにより多くの住居者に危害を及ぼす恐れのある区域を「急傾斜地崩壊危険区域」に指定し、急傾斜地崩壊防止工事を施工する。	事業費の割合 83.3%	83.3%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
H29年度から法枠工等の法面補強による急傾斜地崩壊防止工事を年次的に行っており、R6年度に完了予定。		30,000	12.5% （累計 95.8%）
（庁内連携課）		うち一財 0	
（共創パートナー）	危険区域内の土地所有者（急傾斜地崩壊防止施設に供する土地の寄付）		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計	起案	入札手続き	契約			急傾斜地崩壊防止工事				完成	

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	河川管理事業 (河川浚渫・排水路浚渫)	災害に強い強靭な地域づくりを推進するため、河川等の浚渫など、適切な維持管理を行うことで、大雨時の河川の氾濫を防ぐ。	事業費の割合 62.4%	62.4%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
河川の氾濫防止対策として、準用河川10箇所、指定水路7箇所の浚渫を実施する。 (緊急浚渫推進事業債がR6年度までの時限措置であるため集中的に実施)		15,000	18.8% （累計 81.2%）
（庁内連携課）		うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計	起案	入札手続き	契約	準用河川 2箇所 指定水路 2箇所 浚渫工事	完成		設計	起案	入札手続き	契約	準用河川 8箇所 指定水路 5箇所 浚渫工事	完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	宇部版ミズベリング・プロジェクト補助事業	水辺を活用してマルシェ等のイベントを企画運営する団体を募集し、経費の一部を支援することで、継続的な河川空間のにぎわいを創出する。	実施件数 5件	4件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・水辺を活用してイベント等を開催する団体に、1イベントあたり50万円を上限に助成を行う。 ・公募により決定した「まじめ川ミズベリング実行委員会」と「東片倉ミズベリング実施協議会」の2団体と連携しながら河川空間のにぎわいを創出する。 ・プロジェクトが地域に浸透し、自立した活動となるまで支援を行う。		2,000	5件
（庁内連携課）	中心市街地活性化推進課	うち一財 2,000	
（共創パートナー）	宇部版ミズベリング・プロジェクト事業実施団体（2団体）		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● ミズベリング・プロジェクト実施団体決定	● 自然環境教育(沢波川)		● 全国一斉水辺で乾杯(7月7日)（真締川）		社会実験「ときわいこっと3」【中心市街地活性化推進課連携】 ●	●	● オープンカフェ（真締川）	● キャンドルナイト（真締川）	ミズベリング・プロジェクト実施団体公募 HP掲載 ●	● 自然環境教育（沢波川）	●

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地である旭が丘団地の地震時の滑動崩落等を防止するため、R2年7月の大雨により発生した地すべりの滑動崩落防止対策工事を実施する。（R4年度繰越事業）	滑動崩落対策工事の推進 実施設計書完了 工事発注	実施設計書完了 工事発注 （繰越）

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
宅地や道路に地すべりが発生している大規模盛土造成地（厚南旭が丘団地）において、地元住民との合意を図りながら滑動崩落対策事業を実施する。		137,000（全額繰越）	工事完了
（庁内連携課）	建築指導課	うち一財 7,800	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【用地買収】											
用地交渉 ●	契約 ●		登記完了 ●								
【工事】											
● 地元説明会	● 着手			● 現場見学会	※ 県が工事完了を確認後、造成宅地防災区域を解除(R6年度予定)						● 完成

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	道路整備課	白石　徹

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・「橋梁長寿命化修繕計画」並びに「道路の個別施設計画（舗装編）」に基づき、予防保全型の維持管理へ転換することでコストの最小化を図り、 持続可能で安心・安全な道路環境を提供する。 ・ネーミングライツやスポンサー制度を通じた民間活力の活用により自主財源を確保することで、多様化する市民ニーズに的確に対応し、サービスの向上に努める。 ・市民の声を反映させた、安心・安全で快適な道路環境の整備を行う。 ・「通学路合同会議」や「ビッグデータ」等を活用した交通安全対策等により、歩行者や自転車、クルマにやさしい道路空間を創出する。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	劣化し薄くなった路面標示の更新延長 （累計：延長）	個別計画	R4 ～ R6	171km	57km	114km	薄くなったり消えている路面標示を更新することで、交通事故の発生抑制と快適な走行空間が確保できる。
2	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく道路橋修繕実施箇所数 （累計：箇所）	個別計画	R4 ～ R8	35箇所	11箇所	23箇所	老朽化した橋梁を計画的に修繕することで、道路ネットワークの安全性、信頼性の確保及び維持管理コストの縮減と平準化ができる。
3	「道路の個別施設計画（舗装編）」に基づく舗装長寿命化修繕進捗率 （計画延長ベース　累計：%）	第五次総合計画	R4 ～ R8	100%	55%	62%	劣化した舗装の修繕を計画的かつ効率的に実施し、健全な道路舗装を維持することで、市民生活の安心・安全が確保できる。
4	ビッグデータを活用した交通安全対策箇所数 （累計：箇所）	第五次総合計画	R4 ～ R8	49箇所	30箇所	35箇所	国土交通省から提供されるビッグデータを活用し、潜在的な危険箇所や車両通行状況を把握する一つの指標とすることで、効率的な交通安全対策が実施できる。
5	「宇部市自転車活用推進計画」に基づく自転車通行空間の整備率 （計画延長ベース　累計：%）	個別計画	R4 ～ R8	100%	73%	78%	自転車通行空間の計画的な整備や安全意識向上のための啓発活動を実施することで、自転車、歩行者、クルマが共存できる安心・安全な道路空間が創出できる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	交通安全施設等整備事業（路面標示工事）	路面標示について、市政懇談会での更新要望や劣化情報の増加を踏まえ、予算を拡充し、整備を加速化させることで、交通事故の発生抑制と快適な走行空間を確保する。	3か年の累計延長 57km	（累計） 57km

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
市道の路面標示について、通学路の合同点検、地元からの要望、市民からの通報(ネイティブ宇部など)及び職員のパトロールなどを通じて集約した情報をもとに、現地を確認したうえで、交通量が多く緊急性の高いものから、年次的に塗り替えを実施する。また、市道以外の路面標示や横断歩道などについては、それぞれの管理者に情報提供するなど、連携して、適切な管理・更新に取り組む。		66,000	57km
（庁内連携課）	市民活動課	うち一財 66,000	（累計 114km）
（共創パートナー）	宇部警察署、公安委員会、国道管理者、県道管理者		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【工事】			情報収集/現地調査/設計・積算		入札手続き	工事施工（L=57km）					完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	橋梁長寿命化修繕事業	老朽化した橋梁を、限りある財源で適切に維持管理を行っていくために、予防保全型の維持管理へ転換することで、コストの最小化を図り、持続可能で安心・安全な道路環境を確保する。	計画期間の累計箇所数 15箇所	（累計） 11箇所

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき道路橋の修繕工事を実施する。 R5分（8箇所：岡ノ辻高架橋、五反田笹山線無名橋、下浜田橋、上御撫育橋、四反田橋、第二夏目橋、正楽寺橋、笛太郎橋） R4分（4箇所：江頭高架橋、矢矯橋、小河内橋、御手洗歩道橋）		114,000	12箇所
（庁内連携課）		うち一財 5,200	（累計 23箇所）
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【設計業務委託】 設計・積算	起案	契約	現地踏査、関係機関協議、設計業務委託			完成					
【工事】				設計・積算	入札手続き	修繕工事（12箇所）					完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	舗装整備事業（舗装長寿命化修繕）	道路インフラの老朽化対策費用の増加に対応するため、舗装の補修修繕を計画的かつ効率的に実施することで、健全な道路舗装を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストを縮減する。	計画期間の累計割合 51%	（累計） 55%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
「道路の個別施設計画（舗装編）」に基づき道路の修繕工事を実施 （L=3.0km36路線）		126,000	7% （累計 62%）
（庁内連携課）	宇部市水道局、下水道経営課、下水道整備課	うち一財 12,600	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【工事】			現地調査・設計・積算		入札手続き	修繕工事（L=3.0km_36路線）					完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	ビッグデータ活用交通安全対策事業	国土交通省から提供されるビッグデータの活用により、潜在的な危険箇所が特定されるとともに、地区の関係者と交通安全対策に関する会議の場において車両通行状況を把握する一つの指標とすることで、効率的な交通安全対策を実施する。	計画期間の累計箇所数 29箇所	（累計） 30箇所

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
国土交通省から提供されるビッグデータを活用し、学校や地域関連団体、警察と連携して交通安全対策を実施する。 （対象地区：恩田、見初、神原、琴芝、新川、鵜の島）		1,500	5箇所 （累計 35箇所）
（庁内連携課）	教育委員会学校教育課 市民活動課	うち一財 150	
（共創パートナー）	国土交通省、宇部警察署、地域関連団体		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【交通安全対策の検討】 各地区との会議開催準備 （学校・地域の関係者・警察・道路管理者）						交通安全対策会議			施工済箇所データの検証		
【工事】			国交省からデータ提供		資料作成	対策方法の選定		設計・積算／入札手続き	安全対策工事		完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	自転車活用推進事業	自転車通行空間の整備や安全意識を醸成することで、自転車・歩行者・クルマが共存できる安心・安全なまちを目指す。	計画の累計割合 73%	（累計） 73%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
「宇部市自転車活用推進計画」に基づく、自転車通行空間の整備及び自転車利用者・ドライバーに対する安全意識向上のための啓発活動を実施する。		2,310	5% （累計 78%）
（庁内連携課）	市民活動課	うち一財 145	
（共創パートナー）	うべ交通まちづくり市民会議、市内自動車学校、宇部警察署、学校（中・高）		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【啓発活動】	交通安全週間 ● 啓発活動		中学生対象ワークショップ ●		交通安全週間 ● 啓発活動		交通安全週間 ● 啓発活動				
【工事】		起案			完成						
現地調査・警察協議 →	設計・積算 →	● 入札手続き →	自転車通行帯路面標示工事 →		●						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	下水道経営課	國司　哲也

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
人口減少等に伴う下水道使用料の減少や施設の老朽化に伴う改築需要など、経営状況の変化を踏まえ、経営の健全化、効率化に努め、持続可能な下水道事業運営を目指す。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	効率的な汚水処理手法の実施 （浄化槽を含む汚水処理10年概成） （汚水処理人口普及率：累計・%）	第五次総合計画	H29 ～ R8	95.0%	93.2%	93.8%	効率的な汚水処理手法により整備を促進することで、公共用水域の水質保全と生活環境が向上する。
2	老朽化した栄川ポンプ場と鵜の島ポンプ場を廃止し、統合する玉川ポンプ場事業〔DBO事業〕の実施（進捗率　建設事業費ベース：%(総建設事業費：約150億円)）	個別計画	H29 ～ R6	100.0%	77.3%	94.6%	官民連携手法（DBO事業）を導入することで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスの提供及び浸水被害が軽減できる。
3	西部処理区の最適な事業運営手法の導入 （事業運営手法：コンセッション事業）	個別計画	R4 ～ R7	最適な事業運営の開始	発注支援業務の実施	発注支援業務の実施	官民連携手法（コンセッション事業）を導入することで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスが提供できる。
4	芝中ポンプ場の官民連携手法（DB事業）の事業実施	個別計画	R4 ～ R6	DB事業の着手	発注支援業務の実施	発注支援業務の実施	官民連携手法（DB事業）を導入することで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスが提供できる。
5	宇部市下水道事業総合計画の進捗管理 （計画期間：R4年度～R13年度） （経常収支比率：%）	個別計画	R4 ～ R13	104.0%以上	105.7%	103.7%	下水道事業の進捗管理を行うことで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスが提供できる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	効率的な汚水処理手法の実施	国の示す10年概成である令和8年度までに汚水処理人口普及率を95%以上とする目標を達成する必要があるため、効率的な汚水処理手法により整備を促進する。（汚水処理人口普及率 ： 公共下水道、農業集落排水、浄化槽で整備済の行政人口割合）	汚水処理人口の普及率 93.2 %	93.2 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
公共下水道の整備区域の効率的な整備に加え、合併処理浄化槽の整備区域については浄化槽設置補助金の上乗せ等を行い、汚水処理の概成を促進する。		ゼロ予算	0.6% （累計 93.8%）
（庁内連携課）	下水道整備課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■公共下水道及び浄化槽の整備											
整備人口集計作業 →			下水道整備及び浄化槽申請件数の進捗管理							整備人口集計作業（汚水処理施設毎の実績） →	
● 市ウェブサイト掲載（浄化槽受付開始）						● 広報うべ掲載（浄化槽普及促進）				● 浄化槽受付終了	● 結果集計

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	玉川ポンプ場事業〔DBO事業〕の進捗管理	栄川ポンプ場及び鵜の島ポンプ場は供用開始から50年以上が経過し老朽化が進行しており、これらの施設について適切に機能を維持する必要があるため、最適な手法であるDBO事業により、両ポンプ場の機能を統合する玉川ポンプ場の建設を実施する。（事業者選定後 VFM=12.7%）	建設事業費ベースの進捗率 77.3 %	77.3 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
各工種毎に施工状況を把握し、遅延が発生しないよう進捗管理を行う。		2,818,000	17.3% （累計 94.6%）
（庁内連携課）	下水道施設課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ポンプ場本体工事 ■流入渠及び放流渠工事						● 広報掲載 →	● 施設見学会（ポンプ場、シールド）			●報道発表	
		機械・電気設備工 →			場内整備工 →				● 汚水流入開始 →	● 総合試運転 →	● 通水式 → 維持管理委託
	〔流入渠〕居能1号バイパス幹線（φ3.5m）、栄川1号バイパス幹線（φ2.2m）と既設合流幹線との接続										
	〔放流渠〕ボックスカルバート設置工事（□3.7×3.15m）								● 流入渠切換え		

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	西部処理区コンセッション手法の導入	現業職員の減少に伴い、下水道施設の維持管理が困難になることから、職員が行っている維持管理業務の一部を最適な手法により民間委託に移行する。（コンセッション方式　導入検討段階　VFM=13.3%）	最適な事業運営の開始 発注支援業務の実施	発注支援業務の実施

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
西部処理区の最適な事業運営手法であるコンセッション方式の事業実施に向けた事務手続きを遂行する。 職員自らが行う業務と官民連携手法の両立により、職員の技術継承と民間事業者のノウハウや創意工夫、最先端技術などを共有する「宇部市モデル」を構築し、共創による施設更新や運転管理を目指す。		ゼロ予算	発注支援業務の実施
（庁内連携課）	下水道施設課	うち一財　0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■西部処理区の事業運営手法の発注支援業務 〔第1期〕R4年8月発注済み				実施方針（案）の作成及び要求水準書（案）の作成							
				●第2回事業者選定委員会	●実施方針（素案）公表				第3回事業者選定委員会●	議会報告●	実施方針（案）、要求水準書（案）公表●

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	芝中ポンプ場の再構築〔DB事業〕	芝中ポンプ場は供用開始から50年以上が経過し老朽化が進行しており、施設を適切に機能維持する必要があるため、最適な手法であるDB事業により再構築を実施する。（DB事業　導入検討段階　VFM=1.7%）	DB事業の着手 発注支援業務の実施	発注支援業務の実施

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
芝中ポンプ場のDB事業の事業実施に向けた事務手続きを遂行する。		15,000	発注支援業務の実施
（庁内連携課）	下水道施設課	うち一財　0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■芝中ポンプ場の官民連携手法の発注支援業務 〔第1期〕R5年2月発注済み			実施方針の作成及び要求水準書の作成			第2回事業者 選定委員会●			要求水準書 ●（案）公表		
			●第1回事業者 選定委員会		●議会報告			●実施方針 （案）公表	〔第2期〕発注準備 募集要項、評価基準書、契約書等の作成		業務委託

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	宇部市下水道事業総合計画の進捗管理	安定的な下水道サービスを提供するため、第五次宇部市総合計画に掲げる取組を公営企業として計画的かつ効率的に推進する。	経常収支比率の割合 105.0 %	105.7 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
下水道事業総合計画の進捗管理を行い、事業の遅れや今後の投資計画を的確に把握し、中長期的な視点を踏まえた予算編成を行う。		ゼロ予算	103.7 %
（庁内連携課）	下水道整備課、下水道施設課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■下水道事業総合計画		進捗管理（事業の遅延や投資計画の把握）及び予算編成作業									
						R6当初予算に反映					● 予算委員会

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	下水道整備課	若﨑　真和

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

・下水道事業総合計画等に基づき、計画的かつ効率的な維持管理や老朽管の改築更新及び汚水整備を行うなど環境保全の対策に努める。
・浸水常襲地域の雨水整備を行い、安全で安心して暮らせる生活環境の向上に努める。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽管の改築更新延長 （累計：km）	個別計画	R5 ～ R9	30.0km	20.0km	23.5km	緊急度（危険度）の高い老朽管を改築更新することで、市民の安心・安全な生活環境が確保できる。
2	浸水対策重点整備地域の整備面積 （累計：ha）	個別計画	R4 ～ R8	21.8ha	14.2ha	17.8ha	浸水対策重点整備地域の雨水渠を整備し、浸水被害が軽減することで、災害に強い安全なまちづくりが推進できる。
3	阿知須処理区における汚水整備面積・戸数 （累計：ha・戸）	個別計画	R3 ～ R8	54.1ha （610戸）	8.6ha （148戸）	24.6ha （352戸）	阿知須処理区の汚水管を整備することで、市民の健康で快適な生活環境が確保できる。
4	合併浄化槽の普及促進 （補助基数累計：基）	個別計画	R3 ～ R8	500基	230基	310基	浄化槽設置の補助金交付を行い、合併浄化槽の普及促進を図ることで、市民の健康で快適な生活環境が確保できる。
5	分流化対策(琴芝地区) （累積：戸）	個別計画	R5 ～ R12	180戸	0戸	12戸	分流化対策工事を実施し、雨水浸入量を減少せることで、市民に安定的な下水道サービスを提供することができる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	下水道管路施設の改築更新事業	下水道管施設を改築更新することで、下水道管に起因する道路陥没件数の減少させ、市民の安心・安全な生活環境を確保する。	老朽管改築更新累計延長 21.3km	20.0km

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
埋設後50年以上を経過している下水道管の点検・テレビカメラ調査は概ね完了したことから、埋設後30年以上経過している下水道管の点検・テレビカメラ調査を実施し、下水道管の緊急度(危険度)を把握する。 緊急度(危険度)が高いと判定された下水道管の改築・更新工事を実施する。		545,700	3.5km （累計 23.5km）
（庁内連携課）	道路整備課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【工事】											
設計・積算		入札手続き	契約			改築更新工事施工					完成
【点検・テレビカメラ調査】											
				点検・テレビカメラ調査及び緊急度判定							完了

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	浸水対策事業	浸水対策重点整備地域の雨水渠を整備することで、大雨時に浸水が発生している地域の解消を図り、災害に強い安全なまちづくりを推進する。	浸水対策重点整備地域累計整備面積 15.2ha	14.2ha

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
八王子地区及び琴芝地区の雨水渠整備工事を実施する。 五十目山雨水幹線の詳細設計及び用地測量設計を実施する。		136,000	3.6ha （累計 17.8ha）
（庁内連携課）	土木河川課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【琴芝・八王子】											
設計・積算		入札手続き	契約			雨水渠整備工事施工					完成
【五十目山雨水幹線】											
		詳細設計			完成		用地測量設計				完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	阿知須処理区の汚水整備事業	国の示す10年概成である令和8年度までに汚水処理人口普及率95%以上とする目標を達成する必要があるため、効率的な汚水処理手法により整備を促進する。	未普及地域累計整備面積及び戸数 12.3ha(192戸)	8.6ha(148戸)

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
東岐波地区（丸尾、磯地）の汚水管整備工事を実施する。		376,000	16.0ha(204戸) （累計 24.6ha(352戸)）
（庁内連携課）	下水道経営課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計・積算		入札手続き	契約			汚水管整備工事施工					完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	合併浄化槽の普及促進	下水道事業計画区域外等に対する浄化槽設置の補助金交付を行うことにより、合併浄化槽の普及促進を図り、市民の健康で快適な生活環境を確保し、かつ、公共用水域の水質保全を図る。	合併浄化槽設置累計基数 262基	230基

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
下水道整備計画を縮小した区域に浄化槽設置補助金の上乗せを行い、合併浄化槽の普及促進を図る。		48,611	80基 （累計 310基）
（庁内連携課）	下水道経営課、広報広聴課	うち一財 28,765	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合併浄化槽補助金の交付申請受付											
						完了検査、補助金交付					
● 市ウェブサイト掲載(受付開始)				普及活動方法の検討		● 広報うべ掲載（普及促進）					
● 上乗せ補助対象地域への制度の周知(地元回覧)											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	分流化対策事業(琴芝地区)	琴芝地区の下水排除方式は昭和45年の法改正に伴い合流式から分流式に変更となったが、宅内の分流化が進捗していないことから、改正以前の合流式を分流化対策事業により雨水浸入量を減少させる。	分流化対策累計戸数 0戸	0戸

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
家屋の宅内排水施設調査を実施し、合流式と判明した家屋を対象に分流化工事を実施する。		10,010	12戸 （累計 12戸）
（庁内連携課）	下水道施設課	うち一財 10,010	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家屋所有者との調整・計画図作成・覚書締結						工事の実施・排水設備検査・引渡し					完成

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	下水道施設課	中村　功

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
安定的に下水の処理を行い川や海の水質を良好に保全する。また大雨時においては速やかに雨水を排除し住民の生命や財産を守る。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	西部処理区の最適な事業運営手法の導入（事業運営手法：コンセッション事業）（再掲）	個別計画	R4～R7	最適な事業運営の開始	発注支援業務の実施	発注支援業務の実施	官民連携手法（コンセッション事業）を導入することで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスが提供できる。
2	芝中ポンプ場の官民連携手法（DB事業）の事業実施（再掲）	個別計画	R4～R6	DB事業の着手	発注支援業務の実施	発注支援業務の実施	官民連携手法（DB事業）を導入することで、効果的かつ経済的な下水道事業運営の継続と安定的な下水道サービスが提供できる。
3	宇部市下水道ストックマネジメント計画（第2期）に基づく改築更新（改築更新率（累計・%））	個別計画	R5～R9	100%	0%	21%	老朽化が進行する施設の補修・更新を計画的に行うことで、効果的かつ経済的に下水道事業運営の継続と下水道サービスが提供できる。
4	栄養塩類の能動的運転管理(東部浄化センター)（下半期 全窒素濃度平均値）	個別計画	R5	12mg/l	12.0mg/l	12mg/l	秋から春にかけて下水処理水中の窒素などの栄養塩類濃度を高めて放流することで、豊かな海産物を生み出す生産基盤(海)の創造・維持ができる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	西部処理区コンセッション手法の導入（再掲）	現業職員の減少に伴い、下水道施設の維持管理が困難になることから、職員が行っている維持管理業務の一部を最適な手法により民間委託に移行する。（コンセッション方式　導入検討段階　VFM=13.3%）	最適な事業運営の開始 発注支援業務の実施	発注支援業務の実施

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
西部処理区の最適な事業運営手法であるコンセッション方式の事業実施に向けた事務手続きを遂行する。 職員自らが行う業務と官民連携手法の両立により、職員の技術継承と民間事業者のノウハウや創意工夫、最先端技術などを共有する「宇部市モデル」を構築し、共創による施設更新や運転管理を目指す。		ゼロ予算	発注支援業務の実施
（庁内連携課）	下水道経営課	うち一財　0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■西部処理区の事業運営手法の発注支援業務 〔第1期〕R4年8月発注済み				実施方針（案）の作成及び要求水準書（案）の作成							
				●第2回事業者選定委員会	●実施方針（素案）公表				第3回事業者選定委員会●	議会報告●	実施方針（案）、要求水準書（案）公表●

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	芝中ポンプ場の再構築〔DB事業〕（再掲）	芝中ポンプ場は供用開始から50年以上が経過し老朽化が進行しており、施設を適切に機能維持する必要があるため、最適な手法であるDB事業により再構築を実施する。（DB事業　導入検討段階　VFM=1.7%）	DB事業の着手 発注支援業務の実施	発注支援業務の実施

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
芝中ポンプ場のDB事業の事業実施に向けた事務手続きを遂行する。		15,000	発注支援業務の実施
（庁内連携課）	下水道経営課	うち一財　0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■芝中ポンプ場の官民連携手法の発注支援業務 〔第1期〕R5年2月発注済み			実施方針の作成及び要求水準書の作成			第2回事業者選定委員会●			要求水準書●（案）公表		
			●第1回事業者選定委員会		●議会報告			●実施方針（案）公表	〔第2期〕発注準備		業務委託
									募集要項、評価基準書、契約書等の作成		

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	下水道施設の改築更新事業（機械・電気設備）	下水道施設（機械・電気設備）を改築更新することで、適切な維持管理を行い市民の安心・安全を確保する。	更新済の機器数の割合 0%	0%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
ストックマネジメント計画（第2期）に基づき処理場やポンプ場の改築更新工事を行う。		249,000	21%（累計 21%）
（庁内連携課）	下水道経営課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	設計・起工・入札手続き			契約・詳細打合せ		機器製作・現場作業などの管理監督			（運転方法の取りまとめ）		完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	東部浄化センターの能動的運転管理	公共用水域における生物多様性の確保及び水産資源の持続的利用の確保の観点から、「きれいな」だけでなく「豊かな」水環境を求めるニーズが高まっていることから、秋から冬にかけて汚水中の栄養塩類である窒素分を増加させて放流する。	放流水の栄養塩類（全窒素）の濃度 12mg/ℓ	12.0mg/ℓ

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
秋から春にかけて、汚水中の栄養塩類である窒素分を除去する処理工程（嫌気運転）を抑制し、放流水中の窒素分を増加させる。 ［R4年度の窒素濃度実績　通常運転管理期間(4月～9月）8.8mg/ℓ　能動的運転管理期間(10月～3月）12.0mg/ℓ］		ゼロ予算	12.0mg/ℓ
（庁内連携課）	水産振興課	うち一財 ゼロ予算	
（共創パートナー）	山口県漁業協同組合　宇部統括支店・藤曲浦支店		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【きれいな海と、豊かな海を共存させ、季節によるニーズに応える＜法令は遵守＞】											
回復期間		＜きれいな海＞						＜豊かな海＞			
（運転切替移行期間）		（通常運転期間）		（運転切替移行期間）			（栄養塩類増加・能動運転期間）				

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	地籍調査課	藏田　竜雄

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
地籍を明確化し、調査成果を活用することで、土地に係るトラブル防止、災害復旧の迅速化や課税の適正化・公平化など市民サービスの向上を図る。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	宇部市における地籍調査事業第7次十箇年計画（R2年度～R11年度)に基づく地籍調査面積（累計）	個別計画	R2～R11	15.01k㎡	2.78k㎡	4.11k㎡	土地の境界が明確化されることで、土地に係るトラブル防止、災害復旧の迅速化、課税の適正化・公平化など市民サービスの提供ができる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	地籍調査事業	土地の境界が明確化されることで、土地に係るトラブル防止、災害復旧の迅速化、課税の適正化・公平化を図られるため、国土調査法に基づき地籍調査事業を推進する。	地籍調査累計面積 2.78㎢	2.78㎢

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
調査準備、地元説明、一筆地調査、地籍測量、地積測定、地籍図及び地籍簿作成、閲覧、成果の認証、調査成果を法務局へ送付する。		54,478（R4年度繰越42,300含む）	1.33㎢（累計：4.11㎢）
（庁内連携課）	資産税課	うち一財 10,575	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

【地籍調査】

○ 調査業務

設計書の作成 → 入札 地権者案内 地元説明会 → 現地調査・調査結果入力 → 現地調査とりまとめ

○ 閲覧・法務局送込み業務

地籍図・地籍簿（案）作成 → 県検査 → 閲覧 → 地籍図・地籍簿の確定 → 県検査 → 県の認証・国の承認 → 法務局への送付

各年度調査資料作成（相続人調査等）

R6年度事業量調査 → R6年度要望

R6年度事業確定要望